

1106 **A case of extensive thrombotic occlusion from the external iliac artery to the popliteal artery successfully treated by upper extremity endovascular revascularization and subsequent direct oral anticoagulant therapy**

Toru Isoda¹

Junichiro Inomata¹, Hideaki hamada¹

¹ The department of Cardiology, Kumagaya General Hospital, Japan

[Target Lesion] 右外腸骨動脈～右膝窩動脈 [Strategy] 82歳女性。2年前に左下肢 ALI に対して、左股関節レベルで下肢切斷施行、その後右 EIA に BNS1 本、右 SFA に DES が 3 本留置されている。数週間前から右下肢の安静時疼痛で 2022 年 6 月当院受診。左 CFA 穿刺できず、左上腕動脈を穿刺。造影では右 EIA 入口部から閉塞し、閉塞病変の exit が確認できず造影のみで終了。しかし症状増悪し、病日 10 日目に EVT を施行。左上腕動脈から 5Fr Destination90cm を挿入し、V-18 で右 POPA まで進めた。EIA～POPA まで POBA を行い、最終造影では血栓が多量に残存するも手技終了。EVT 直後からエドキサバン 30mg を開始とした。[Final Result]術後 3 週間後の ABI は 0.9 まで回復し、下肢造影では血栓が大幅に減少し足関節以遠まで良好な血流を確認できた